

防災カードゲーム「このつぎなにがおきるかな？」

～どしゃさいがい編～ 解説書案

防災カードゲーム「このつぎなにがおきるかな？」および「命を守るための防災教育イラスト」は、災害が発生したときに起こる危険な状況をイラストで表現し、カードゲームとしたものです。子供たちが遊びながら防災について学び、楽しみながら防災力を身につけることを目的としています。

本解説書は、「どしゃさいがい編」を用いたゲーム・防災教育を行う際に、指導者の方に知っておいて頂きたい内容(ストーリー、カードのポイント)を整理したものです。

本資料は暫定版として作成したものです。今後、さまざまなご意見などを踏まえ、ブラッシュアップしていく予定です。

【イラスト(ピクトグラム)表現について】

災害を経験したことない子供たちでも、災害の様子が伝わり、意識に残りやすいよう、それぞれの災害をイラストで紹介しています。

その際、危険な場面が怖くなりすぎないように、人を「ピクトグラム」で表現しています。なお、施設のサイズ感や発生事象のディテールは、伝えたいポイントを踏まえて表現しています。(例えば、水害の場合は「水」との関係、地震の場合は周囲の構造物との関係などを踏まえ、ディテールの細かさなどを変えています。)

【漢字の用法について】

「防災カードゲーム」内で用いる漢字は、教育漢字(6年生までに学習する漢字)を基本とし、ふりがなは、小学3年生までに学習しない漢字を対象に付しています。漢字の用法については、本カードゲームは上記目的のとおり子供達(小・中学生)に活用していただくことを想定していることから、小学校で学習しない漢字を用いた熟語などは、語彙の意味が伝わらない可能性を鑑みて対応しています。(教育漢字以外の漢字を用いる語彙は、単純に平仮名で表現することは極力避け、可能な限り分かり易い表現に言い換えています。)

一方で、ふりがなは、災害が発生したときに起こる危険な状況などを小学校の上級生(4年生以上)には理解していただきたいと考え、4年生以上であれば無理なく読むことができるように配慮しています。

①危険を察知できる

災害の種類：土砂災害（がけ崩れ）

解説：

大雨が降った後、山や川のような変化に気が付かないでその場にいると、土砂にまきこまれる。

（子ども向け解説）

雨がたくさん降った後に山や川のような変化していたら、土砂にまきこまれることがあるよ！

⇒雨がたくさん降っている時や降った後は、家のまわりのような変化に注意しよう！



雨 ^ふが降っている時や
その後に

小 石が落ちてきたら、

がけ崖 くずれの
まえぶれだよ

どしゃさいがい2

参考となるHP

○ハザードマップポータルサイト

<https://disaportal.gsi.go.jp/>

「重ねるハザードマップ」 いろいろなハザード情報を重ねて表示できます

「わがまちハザードマップ」 自治体のハザードマップを検索できます

①危険を察知できる

災害の種類：土砂災害（がけ崩れ）

解説：

土砂災害が発生しても自分の家が巻き込まれることはないと思い避難しなかったところ、土砂災害により自宅が土砂に巻き込まれる。

（子ども向け解説）

地震が起きたり大雨がふると、自分の家が土砂災害にまきこまれてしまうことがあるよ！

⇒自分の家や通学路が、あぶない場所かどうか調べるのが大事！



地震が起きたり、

大雨が降ったりすると

自分の家が

ハザードマップでは、土砂災害警戒区域内であるだけでなく、隣接している土砂災害警戒区域がないかにも注意しましょう。また、これまで土砂災害が起こったことがない場所でも土砂災害がおきる可能性があります。

土砂災害に

まきこまれてしまう

ことがあるよ！

どしゃさいがい3

参考となるHP

○土砂災害これだけは

https://www3.nhk.or.jp/news/special/saigai/basic-knowledge/basic-knowledge_20210721_01.html

②逃げる決断ができる 災害の種類：土砂災害（がけ崩れ）

解説：
自宅の1Fにいて、土砂災害に巻き込まれる。

（子ども向け解説）

山から土砂が流れ込んで1階がうまってしまうことがあるよ！
⇒危険な状態になる前に安全な建物や場所へと避難することが大事！
外に出るのが危険な時には山と反対側の2階の部屋ににげよう！



山 から土砂が

どしゃ

流 れこんで

2階などの上階に避難することを「垂直避難」と言います。
がけ崩れからの垂直避難では、山と反対側の2階の部屋に移動します。

逃げるのが難しい場合は、少しでも助かる確率を上げる「垂直避難」が最後の手段です。
土石流に対しては、2階でも安全ではない場合があります（カード7と比べてみてください）。

1階がうまって

しまうことがあるよ！

どしゃさいがい4

②逃げる決断ができる 災害の種類：土砂災害（がけ崩れ）

参考となるHP

○首相官邸 土砂災害から身を守るには

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/doshyasaigai.html>

○避難情報に関するガイドラインの改定

https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/

解説：

避難指示等や気象警報に基づきすぐに避難行動が出来ない。

（子ども向け解説）

テレビなどから避難するように言われたら、早く避難しないとにげられないよ！

⇒大雨が降ったらテレビなどをよく見て、避難するように言われたら早く避難しよう！

土砂災害発生の予兆となる前兆現象があれば、すぐに避難しよう



テレビなどから
「ひなん」するように
言われていたら

早く、ひなんしないと

にげられないよ！

④安全な場所まで移動できる
災害の種類：土砂災害（がけ崩れ）

解説：
避難中に土砂災害に巻き込まれる。

（子ども向け解説）

崖が崩れて大きな石が落ちてくることがあるよ！
⇒崖の近くを通らない避難ルートを見つけておこう！

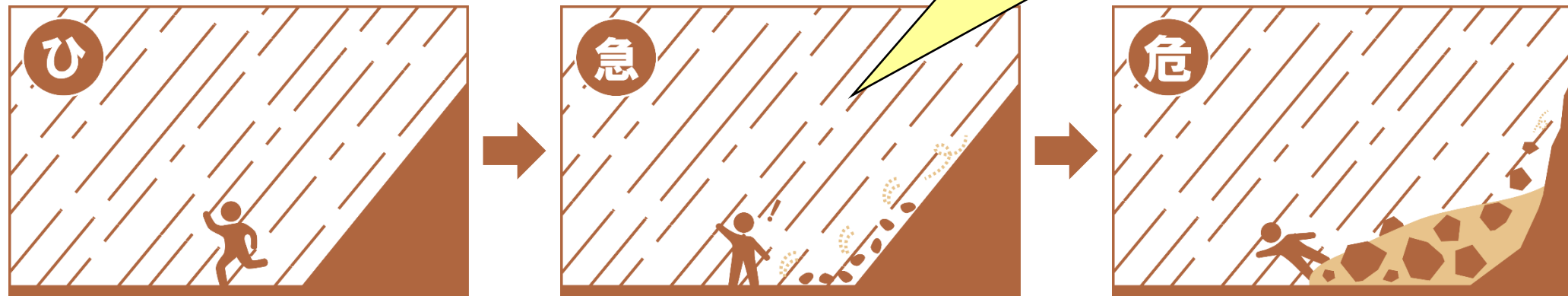
参考となるHP

○NHKオンライン

土砂災害のリスクと命を守る行動をイラストで

https://www3.nhk.or.jp/news/special/saigai/basic-knowledge/basic-knowledge_20220502_07.html

地震後に避難する場合も、余震によって新たに崩壊が発生するおそれがあるので崖の近くを通るルートは危険です。また、大雨の場合は、氾濫のおそれがあるので、川の近くのルートも危険です。



ひ なんするときに

急 ^{がけ}な崖の近くを歩くと

あぶ 危 ないよ！

②逃げる決断ができる 災害の種類：土砂災害（土石流）

解説：

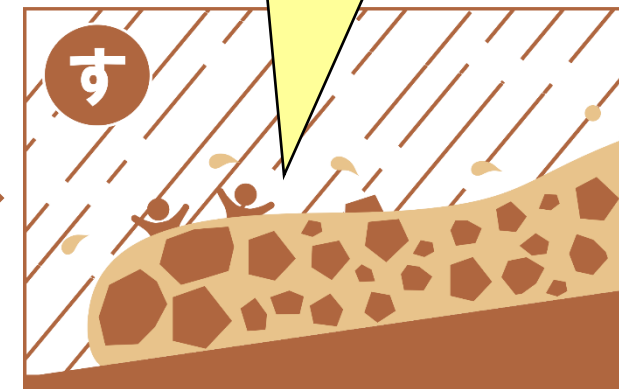
土石流を確認してから逃げようと思ったときには、走っても間に合わなく、土石流に追いつかれる。

（子ども向け解説）

土石流は、猛スピードで流れてくるから逃げきれないよ！

⇒大雨が降ったら、川や水路から離れる方向に向かって早めに避難しよう！

土石流は、大きな岩が流れの前の方に来る特性があります。



土 石流は速いから、

見 えてからにげ

す ぐに追いつかれるよ

土石流の速度は、時速30km以上（地形や地質によっては時速70km）になるため、走っては逃げられません。川等の流路から離れる方向に逃げます。

②逃げる決断ができる 災害の種類：土砂災害（土石流）

解説：

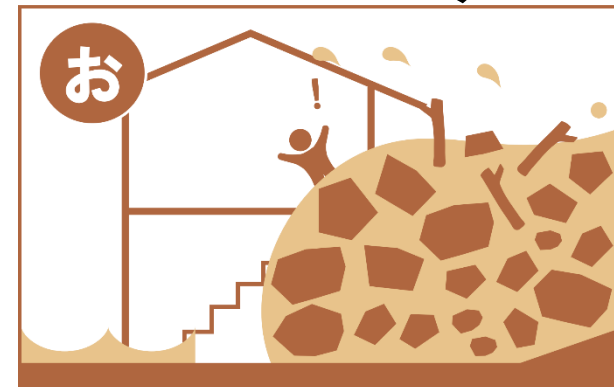
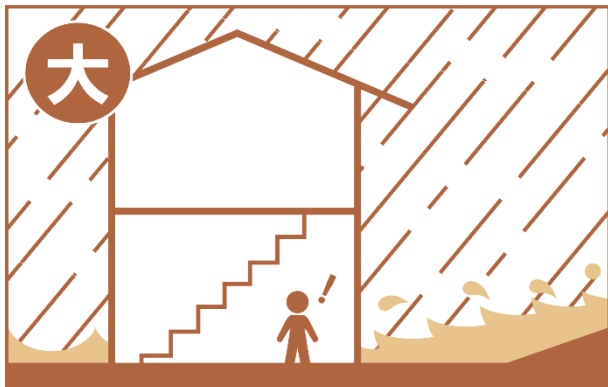
垂直避難をすれば大丈夫と思い、自宅の2階に避難したところ、家ごと流されてしまう。

（子ども向け解説）

土石流がくると二階の高さまで埋もれたり、家が流されることもあるよ！
⇒早めに避難しないと家と一緒に流されてしまうよ！

避難するのに安全な道は普段からハザードマップで確認しておこう！

垂直避難では、土石流の場合、家ごと流される場合があります。そのため、土石流の警戒区域内では、早期避難が命を守る最も有効な方法です。



大きな土砂災害は

2階まで

おし寄せてくる
ことがあるよ！